



なぎちょう
奈義町

12月議会

議会だより



シリーズ・まちの匠

漆に魅せられて 有宗克子さん

165号

令和5年2月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868) 36-4191

【おもな内容】

- 12月定例会で決まったこと、臨時議会 2ページ
- 一般質問（8名） 3～10ページ
- 組合議会、政務活動費 11ページ
- 総務常任委員会、まちづくり常任委員会
こども園、中学校建設調査特別委員会 12～13ページ
- 常任委員会視察研修、表紙の紹介、編集後記 14ページ

12月定例議会（令和4年12月6日～16日）

次のことを審議し、決定しました

《条例》7件

- 奈義町職員の高齢者部分休業に関する条例など6件 (全員一致で可決)
- 奈義町議会基本条例の一部を改正する条例 (賛成7、反対1で可決)

《補正予算》6件

- 一般会計第6号
基金積立金、コロナ対策（抗原検査キットの購入）等 (全員一致で可決)
- 一般会計第7号
コロナ対策（上水道料金減免等）、財産の無償譲渡にかかる債務負担 (賛成7、反対1で可決)

反対討論

- ・森藤 政憲 光ファイバーをNTTに無償譲渡することにかかる債務負担を認めることはできない。

賛成討論

- ・定森 廉敏 光ファイバー設備もいつかは価値がなくなっていく。この時期で手放す判断をしたことは賛成。

- 特別会計2件、公営企業会計2件 (全員一致で可決)

《同意》1件

- 奈義町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて … (全員一致で同意)
鷹取正人さん（65歳・中島東）

《その他》1件

- 財産の無償譲渡について (賛成7、反対1で可決)
光ファイバーケーブル設備一式を西日本電信電話株式会社岡山支店へ無償で譲渡する件

※12月定例議会欠席1名

他 (全員一致で可決)
★ 一般会計補正予算
・ 1億2700万円を追加
品券の発行、物価高騰支援
コロナ対策（プレミアム商

ました。
10月21日、次の議案を審議し

臨時議会



追加で購入した抗原検査キット

町政を問う

一般質問

ページ	議員名	質問項目
4	中井 泰洋	1. 将来の奈義町の姿について △2. クマの出没、被害状況、今後の対策について
5	岡 親佐	1. 水田活用の直接支払交付金「5年ルール」のその後は 2. 奈義町の農業改革プラン（農業法人化）は
6	小阪 四郎	1. 人口減少を食い止めるための対策について 2. 地球温暖化対策として森を育てることについて 3. 酪農家の離農加速が心配されることについて
7	森藤 政憲	1. 高齢者生活応援支援券事業について 2. オートキャンプ場の今後について 3. 奥町政のこの4年間の政治姿勢について 4. 人口問題について
8	定森 廉敏	1. 財政健全化判断比率について 2. G I G Aスクール構想とプログラミング教育について
9	鷹取 渡	1. 学校版スクリーニングについて
10	芦田 一郎	1. なぎビカラリアミュージアムの今後の展望について
	岡 立	1. 学校教育の今後の方針は

議会だよりに記載できなかった質問には△が付いています。

Q 将来の奈義町の理想は



中井 泰洋 議員

A 町民参加のまちづくりが理想

質問

賃貸住宅、分譲地整備が急務と考えるが。

答弁 町長 町営・民間の賃貸

住宅は、ほぼ満室である。

分譲地整備、賃貸や戸建てに

関する補助金を活用し、分譲地13区画、新築住宅10軒が建設される予定である。

豊沢住宅跡地を活用し、民間

主導で賃貸住宅・分譲地整備ができるいか、国の補助金を活用し調査、検討している。空き家対策も計画に基づき進める。

身近な地域との関わりを持つ保育・教育を盛り込んだ計画の策定が現在行われている。

答弁 教育長 幼小中の11年間

途切れることのない一人一人を大切に支援し続け、自ら学び、とともに高めあうことができるようになることを目指している。

答弁 町長 まちづくりは、協働が必要であり、進めるためには、思いを発表する場も大切である。円卓会議での発表、自発的なマルシェの開催等、好循環の町になりつつあると思う。

質問

人材育成が活性化に繋がると思う。町民の思い・発想を発表する場を作つてみては。

答弁 町長 まちづくりは、協

Q

保育園から中学校まで特色のある教育はできないか

A

一貫教育・地域との関わりを持つ教育を行う

質問

特徴のある教育を行うべきと考える。

答弁 町長 町長、教育長の考えは。

町長、教育長の考えは。一贯した教育により、生涯学習の基礎を身につけてもらいたい、と考える。

質問

町が今後も支援をしていくためには、町の力を落としてはいけない。町長の考えは。

答弁 町長

町民誰もが最後まで住み慣れた地域で自分らしく豊かに暮らせるためにも、今後も高齢者支援対策を行っていく。

Q 高齢者支援について

A いつまでも健康で充実した生活を送れるまちを目指す

Q 町民の思いを発表する場を作つてみては

A 円卓会議で行つている

質問

人口・子育て・高齢者対策・人材育成等を総合的に進めることで、未来に向けて存続していくことができると思う。地

A 全く同じ思いである

方創生交付金・過疎債等を利用し、子孫のためにできることをすべきと思うが。

答弁 町長 私たちが責任を持つて、活力ある好循環の町・奈義町を次の世代に引き継いでいかなければならない。



岡 親佐 議員

Q 水田活用の直接支払交付金 「5年ルール」のその後は

A 農政局等へ要望書を提出了

質問

この事業は農業者、また農業法人等にとって、今後、農業の動向を左右する大変重要な国の事業だと思われる。令和4年3月定例会で質問を行い、町長は国、県、関係団体等を通じて要望活動を行う、との答弁だった。農家の皆さんには非常に関心を持っている。その後どうなったのか。

答弁 町長 中國四国農政局に出向き、5年のうち水稻の作付を要件とした一律のルールは課題の検証を綿密に実施し、誰もが納得のできる制度を確立してから運用することなどを求めた要望書を、農政局長へ直接手渡した。局長からは、課題があることは認識している。制度の趣旨と地域の課題をマッチングし実情を反映する、との解答があった。

なお、同様の要望を岡山県町村会、全国町村会また岡山県選出の国会議員へも行っている。



問題あり！ 5年ルール

答弁 町長 戦
略的かつ先見的な考え方を持つトップのリーダー的資質が重要となる。今後、農業改革プランでは、個人、担い手農家との連携強化にも努め、リーダー的資質を持つ人材の発掘や育成、若手農業者が奈義町の農業を牽引していく仕組みづくりの構築に努める。

Q 改革プランで農業法人はできるのか 二階建て連携組織で、新法人設立へ検討中

質問

農業改革プランの計画策定委員会が組織され3年になる。この農業改革プランは農業法人化が大きな目的である。しかし、まだ目に見える形になっていないと思うが、どのような方向に進んでいるのか。

Q 人口減少を食い止めるための対策について



小阪 四郎 議員

A 早急に新しい住まいのエリアの整備に取り組む必要がある

質問

豊沢住宅跡地と周辺4・5ヘクタールの土地を活用し、住む場所の確保に一刻も早く取り組むべきだ。

答弁 町長 民間活力を活用し、PFIで事業ができないか調査している。実施すれば短期間での事業実施、財政負担の軽減、より安価な家賃での入居が期待できる。その検討には、町民約17名で検討委員会を設置して議論を深めている。町が直接、実施する場合との財政支出の削減効果などを算定し、効果を取りまとめ、本年度中に議会に報告する。

質問

結婚推進について、結婚

推進委員会を馴染みやすい名称に変更できないか。

答弁 町長 昨今は、結婚に対する意識が多様化している。将来的に結婚を希望している男女が気軽にイベントに参加して、出会いの場を提供できるような名称にしていきたい。

質問

若木ほど光合成によりCO₂を吸収し、酸素の放出が多くなる。再造林、管理には、大変なお金がかかる。

山林所有者が適性な管理を行

A 現在、調査中

Q 山林所有者に町の助成を



山を育てる

うために、町からの助成はできないか。

答弁 町長 森林環境譲与税を活用した森林資源の解析調査をしている。終り次第、順次、所有者への意向調査を行い、山林の施業管理に努め、引き続き国や森林管理者とも連携して民有林の適正な管理に努める。

Q 酪農家の離農が心配 畜産業者には支援金を交付している

質問 経営が継続できるよう手厚い支援を求める。

答弁 町長 町では酪農家に対し支援金を、牛一頭当たり6000円交付している。

国からも条件により飼料価格高騰緊急対策事業として牛一頭当たり1万円を交付する。本町の酪農家は、約20年前より7割以上減で令和4年度9件であり、引き続き国、県に支援を求めていく。



森藤 政憲 議員

Q 高齢者生活応援支援券（年額12000円） は縮小ではなく拡充を

A 行革の答申を尊重し縮小。 必要ならば別の考え方で支援

質問 森藤政憲議員
町の行革では、年額1万2000円出ている高齢者生活応援支援券制度は、縮小の対象となっている。物価高騰のおり、縮小ではなく拡充をする必要があるのではないか。

答弁 町長 介護保険料増の負担軽減は、行革の答申を尊重し縮小を検討する。ただ、高齢者支援は考え方を変えて、必要ならばしなければならない。

質問 町長は、オートキャンプ場はどうするのか

答弁 町長 慎重に検討

町長は、オートキャンプ場について町民の声を聞いて判断すると表明しているが、1050人の反対署名も出ている。町長自身は、進めるのか中止するのか考えを明確にすべきだ。答弁 町長 地区懇談会では反対、賛成の意見が出された。出された意見を取りまとめ、慎重に検討を進めたい。



驚くほど上がった電気代
(電気メーター)

答弁 町長 人口が減ると暮らしが維持できなくなる。生活がしづらくなる、と考えている。物価高騰対策は緊急の課題であり、人口問題はその下に流れる事業であ

質問 町の行革では、年額1万2000円出ている高齢者生活応援支援券制度は、縮小の対象となっている。物価高騰のおり、縮小ではなく拡充をする必要があるのではないか。

答弁 町長 介護保険料増の負担軽減は、行革の答申を尊重し縮小を検討する。ただ、高齢者支援は考え方を変えて、必要ならばしなければならない。

質問 奥町長のこの4年間の政治姿勢の特徴は、町民への支援金をナギフトカードへ全て入金した様に、自分が正しいと思つた事を町民に押しつける事だった。この事はどう考えるか。

答弁 町長 住民の意見を聞くため地区懇談会の開催、各種団体との懇談など意見を聞かせてもらつた。

質問 奥町長のこの4年間の政治姿勢の特徴は、町民への支援金をナギフトカードへ全て入金した様に、自分が正しいと思つた事を町民に押しつける事だった。この事はどう考えるか。

答弁 町長 住民の意見を聞くため地区懇談会の開催、各種団体との懇談など意見を聞かせてもらつた。

Q 押しつけが奥町政の特徴ではないか

A 町民の意見を聞く場をつくりながらやつてきた

質問 奥町長は、最大の課題は人口問題と述べている。しかし、「安易に人口維持など口にするべきではない」と地方消滅を訴えた増田元総務大臣は述べている。最大の課題は、物価高騰に対する暮らしを守る対策ではないか。

答弁 町長 人口が減ると暮らしが維持できなくなる。生活がしづらくなる、と考えている。物価高騰対策は緊急の課題であり、人口問題はその下に流れる事業であ

Q 最大の課題は人口問題ではなく物価高騰対策では

A 物価対策は緊急の課題。人口問題はその下に流れる事業



Q 将来負担比率0%は本当か

**A 0%と表現しているが
実際は-128%**

定森 廉敏 議員

質問

本町の財政状況を見るとき、例えば、平成20年度には実質公債費比率16・2%、将来負担比率82・1%だった。令和3年度はそれぞれ8・2%と0%である。

こども園、中学校建設に伴う事業費35億円に対し、町の歳入予算は約60億円である。財政健全化判断比率は健全か。

答弁 町長 本町は、県内でもトップクラスの健全財政を維持している。この要因は平成22年度から法律に基づく過疎地域に指定されたことで、財政的に有利な過疎債が借り入れできるようになつたこと。

また、町の将来負担に充当可能な基金が増えたことである。

こども園、中学校建設に伴う過疎債の借り入れにより一時的に実質公債費比率は上昇するが、財政シミュレーションでは9%程に收まり、将来負担比率についても0%が維持できる見込みである。今後も健全財政を維持

していくための計画的な返済計画を立てている。

答弁 総務課長 将来負担比率

は分母に標準財政規模額、分子に地方債残高、下水道会計等への繰入分、退職金積立てに対する負担額等を含め66億円ぐらいうの額になるが、補てんできる財源が町の貯金である基金、過疎債の7割分が普通交付税として入って来るため合わせて99億円となる。

よつて、将来負担比率0%といふ表現をしているが、実際はマイナス128%である。

ステップアップとして文科省の示す学びの目標、つまり、社会課題等の解決や一人一人の夢の実現にどう生かしていくのか。

じ一人一人が様々な文章や動画を収集している。また、文章作成ソフトやプレゼンソフトを利⽤していること、そして、一斉学習の場面では、双方向授業により意見を共有した授業が行われていると思う。

答弁 教育長 児童生徒に身につけさせたい情報活用能力とはどのようなものであるか、情報活用能力を育成するためにどのように学習活動を行えばよいか、この能力に含まれる情報モラルの育成をどのように推進していくべきよいか、といった指針となる奈義町情報活用能力体系表を作成した。今後、教育活動におけるICTのより効果的な活用を目指す。

質問

A タブレット学習の成果は

Q タブレット学習の成果は

A 効果的な活用を目指す

GIGAスクール構想について、本町では一人一台、タブレット、パソコンを活用した学び方を行つてゐる。

検索サイトを活用した調べ学習の場面では、授業テーマに応

じ一人一人が様々な文章や動画を収集している。また、文章作成ソフトやプレゼンソフトを利⽤していること、そして、一斉学習の場面では、双方向授業により意見を共有した授業が行われていると思う。

じ一人一人が様々な文章や動画を収集している。また、文章作成ソフトやプレゼンソフトを利⽤していること、そして、一斉学習の場面では、双方向授業により意見を共有した授業が行われていると思う。



鷹取 渡 議員

Q 学校版スクリーニングについて

A 児童・生徒の最善の利益を追求

質問

小学校や中学校において、問題の起きそうな事案に、早期に対応していくため、学校版スクリーニングが行われているが、奈義町ではどのような構成で対応しているのか。

子どもたちが成長していく過程で、少しでも早い段階で気付けば、カウンセラーや、医療機関につながり、子どもや保護者にとって大きな心の拠りどころになると思うが。

答弁 教育長

スクリーニングは、子ども達一人一人を大切に、個々の児童・生徒の最善の利益を追求するため、こども・長寿課と学校が連携して取り組んでいる。スクリーニングの第一人者で、大阪公立大学の山野則子教授に指導、助言を求めながら、町全体で進めている。

教職員にとっては、児童・生徒への理解が深まり、問題を一人で抱え込むことの解消や、チーム力の向上につながっている。

学校だけでは気付くことができ

なかった子ども達の困り感などを、ソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・保健師等と協力し、早期発見に努め、奈義町全体で子ども達のより良い成長を手助けしていく。



スクリーニングに取り組む奈義小学校

Q スクリーニングを行うなかで心配される事例は

A 問題は多岐にわたつていて

質問

学校版スクリーニングを行う中で、不登校やいじめなど心配された事例はあるか。

答弁 教育長

子ども達の学習状況や生活態度は、教職員で把握しやすいが、現代の子ども達が抱えている問題は家庭を含めて多岐にわたっており、学校だけでは対応・支援ができないものもある。スクールカウンセリングシステムで学級担任だけでは気付かなかつた児童・生徒の困り感が把握でき、適切な支援ができた例もある。



芦田一郎 議員

Q なぎビカリアミュージアムの今後は

A 25周年を期に将来を考えたい

質問

なぎビカリアミュージアムは、平成10年にオープン以来25周年を迎える。

故定森勝己先生のボランティア精神に基づくご指導をいただき、柿地区全員によるビカリア会を設立し、運営にたずさわってきた。

しかし、勤務者の高齢化や亡くなられる方もおられ、常勤者が激減している。現在は学芸員がいない状況で準博物館だが、今後、現代美術館と同程度の力を持った場所にする考えはあるか。

答弁 教育長

現在の設置条件としては博物館類似施設に属しており、学芸員はないが、学術的な資料の収集、保存、調査研究、展示、教育目標などの活動を一体的に行っている。教育委員会と包括的連携協力に関する協定を結んでおり、岡山理科大学生物地球学部の協力により課題を解決し、博物館と同等の運営を行っていくと考えている。

Q 学校教育の今後の方針は

A 地域の方と共につくりあげたい



岡立 議員

質問

特色ある教育の今後の方針は。

答弁 教育長 まず幼小中一貫教育が大きな特色。地域の方の協力もいただきながら、地域を学び、地域を愛し、誇りを持てる子どもを育てていきたい。

質問 奈義町の特色として魅力を感じ、学校を選んでもらう一つの方法として、できるだけ早い時期に一流の人や物に出会い、刺激を受け、挑戦ができる、という考えはないか。

答弁 教育長

現在も力を入れてまた、特色ある教育についているが、今後も可能な限り取り入れていきたい。

- いて ——
 - ・ 外国との交流
 - ・ 体力、学力
 - ・ ランチルームでの給食
 - ・ I C T 支援の専門員
- 等を質問した。

組合議会の報告

勝英衛生施設組合

10月27日、定例会を開催。
令和3年度の決算を認定した。

歳入	1億1012万円
歳出	8982万円
繰越額	2029万円

令和4年度補正予算1232万円を追加し可決。

また、議員定数を変更するための検討委員会を立ち上げた。

(鷹取、岡立議員)

津山圏域広域事務組合

11月18日、定例会を開催。
令和3年度の決算を認定した。
一般会計決算

歳入	3546万円
歳出	2933万円
繰越額	613万円

ふるさと振興事業特別会計
928万円

歳出 174万円
繰越額 754万円

令和4年度補正予算は、一般会計432万円、ふるさと振興事業特別会計724万円を追加し可決。(中井議員)

勝田郡老人福祉施設組合

11月10日、定例会を開催。
令和3年度の決算を認定した。

歳入	3809万円
歳出	3382万円
繰越額	427万円

最初に、議員の指摘に対し松本議長が議長の辞職を申し出てこれを許可。相談の結果、原議長を選出した。

(定森、森藤議員)

(尚、金額については千円以下四捨五入)

津山圏域資源循環施設組合

11月18日、定例会を開催。
令和3年度の決算を認定した。

歳入	18億2320万円
歳出	17億6306万円
繰越額	6014万円

令和4年度補正予算は、45万円を追加し可決。

(小阪議員)

勝田郡老人福祉施設組合

11月10日、定例会を開催。
令和3年度の決算を認定した。

歳入	3809万円
歳出	3382万円
繰越額	427万円

最初に、議員の指摘に対し松本議長が議長の辞職を申し出てこれを許可。相談の結果、原議長を選出した。

(定森、森藤議員)

(尚、金額については千円以下四捨五入)

令和4年度前期分政務活動費報告 (令和4年4月～令和4年9月)

議員氏名	収支報告額(実績) 単位:円							支給決定額	政務活動費の主な使い道
	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	合計		
小阪四郎				35,378		35,378	35,378	35,378	「地方自治法関係実務事典」他購読料
鷹取渡				13,744		13,744	13,744	13,744	「地方議会人」他購読料
森藤政憲	11,000		9,670		9,972	10,860	41,502	41,502	「森藤まさのり議会だより」発行他
計	11,000	0	9,670	0	59,094	10,860	90,624	90,624	

※その他の議員は、今回使用していません。

委員会報告

総務常任委員会

総務常任委員会は、総務課、税務住民課、こども・長寿課、新型コロナウイルス感染症対策推進室、学事課、こども園・中学校開設準備室、生涯学習課、学芸図書課が所管する事業について審査を行います。

■委員長：鷹取 渡 ■副委員長：森藤政憲 ■委員：岡部英生・岡 立・定森廉敏

【総務課】

地域公共交通計画の策定について

Q 協議会の委員に公募で利用者も入ってもらいうことはできないか。

A 検討したい。

【税務住民課】

住宅リフォーム補助金について

Q 増加傾向にあるが、昨年と比較してどうか。

A 現在書類で申請されているのは18件。令和3年度と近い数字になると思う。

大杉勝男さん顕彰碑移設

(奈義町出身の元プロ野球選手)



移設場所：野球場の入り口（管理棟前）

【新型コロナウイルス感染症対策推進室】 新型コロナウイルス感染症に関する支援について

Q いつまでも同じことはできない。国も見直しを図っている。今後はどうか。

A 沈静化後は影響の度合い等を考えた施策が必要。

【こども園・中学校開設準備室】 こども園の備品について

Q 備品費はいつわかるのか。

A 令和5年度の予算編成に合わせて検討している。現在は、今ある物が新しい園舎で使えるかを確認している。

まちづくり常任委員会

まちづくり常任委員会は、情報企画課、産業振興課、地域整備課、こども園・中学校建設推進室が所管する事業について審査を行います。

■委員長：小阪四郎 ■副委員長：上原伸介 ■委員：芦田一郎・岡 親佐・中井泰洋

【情報企画課】

まんぞく量調査について

Q 「転職や起業に挑戦できる」が2年連続で下がっている。今後の方針は。

A 現在の支援では足りていないようだ。町が応援している姿勢を示す必要がある。

【産業振興課】

農業改革プランについて

Q 具体的に決定しない理由は何か。

A 土地が出てこない、取りまとめる人が出てこないのが一番の理由。今年度中には、プランを議会に示したい。



今がチャンス！
無料で
スマホデビュー！

奈義町まるごとデジタル化

こども園、中学校建設調査特別委員会

Q こども園について、ガラス面が多いが、紫外線対策は。

A 日の入り方を加味した設計をしている。カーテン等も使いながら対処できるよう考えている。



中学校建設のようす。夏休み中には旧校舎は解体予定。

常任委員会視察研修

表紙・有宗克子さん（滝本）



岐阜県瑞浪市化石博物館にて
みずなみ

10月17日から19日にかけて、常任委員会の合同視察研修に行ってきました。

岐阜県の富加町と瑞浪市、そして愛知県の一宮市です。

▼静岡県森町では農業について、特に水田を3倍活用した輪作について研修を行いました。限られた面積でいかに効率よく作物を栽培し、また販売していくのか、大変貴重な考え方を学びました。

▼瑞浪市では、化石博物館を見学し、本町のビカリアミュージアムに活かせる経営方法などを学びました。

▼愛知県一宮市では、PFI方式による施設の整備や運営についての研修を行いました。

いずれも、今後奈義町で力を入れて取り組んでいくこうとしている内容のものであり、今回の研修で得た知識や考え方を参考にしながら、今後の奈義町政に活かしていきたいと考えています。

「漆と共に33年」
「漆との出会いは49歳の時。それ以来、嬉しい時も悲しい時も漆と仲間に支えられて来た」と克子さん。

木の温もり、木目の美しさ、漆の艶と深みに魅せられた仲間と共に、本漆を使うための「漆かぶれ」も乗り越え、今では賑やかにおしゃべりをしながら楽しくおられます。

▼岐阜県富加町では、人口問題についての取り組みや考え方、また、ふるさと納税の返礼品についての研修を行いました。人口規模や高齢化率も奈義町に近く、人口問題に対する取り組みは参考になることが多かったです。

した。



漆芸の仲間たちと

コロナに始まりコロナに追われた3年余り。町外へも町内での集まりにも出かけることがためらわれ、子ども達の給食も黙食となり、未経験の事が続きました。今後は少しずつ規制も緩和され、楽しく明るい春が来るよう祈りつつ、今期最後の議会だよりと致します。
(岡立)

【編集委員】

議長 岡定森
委員長 上原
副委員長 小阪森藤
立憲政憲伸
英廉敏郎
生四政伸立



編集後記